

生物境界面の機能工学プロジェクト(2017年10月～)

プロジェクトリーダー 小林 厚志(生命応用化学科 准教授)

目的

従来の生命工学は分子細胞生物学と有機化学との融合等により、ナノスケールでの相互作用解析から導かれる技術開発が主流であった。これからの生命工学は従前のナノスケールからより大きな細胞スケールから組織スケールでの相互作用解析を行うことにより、生命現象の理解から医用工学技術への発展に寄与する必要がある。本プロジェクトでは、生体高分子化学—細胞工学—生体機械工学と工学部ならではの連携を積極的に行うことにより、LOHASの工学に貢献しうる基盤技術の開発を目指す。

研究体制

細胞の構造・熱力学現象の提供

生体境界面現象の提供



片岡則之

(サブリーダー)

専門分野：生体機能工学



Buntara S.G.

(サブリーダー)

専門分野：
構造計算力学



村山嘉延

(サブリーダー)

専門分野：生体生理工学



杉浦隆次

(サブリーダー)

専門分野：
バイオメカニクス



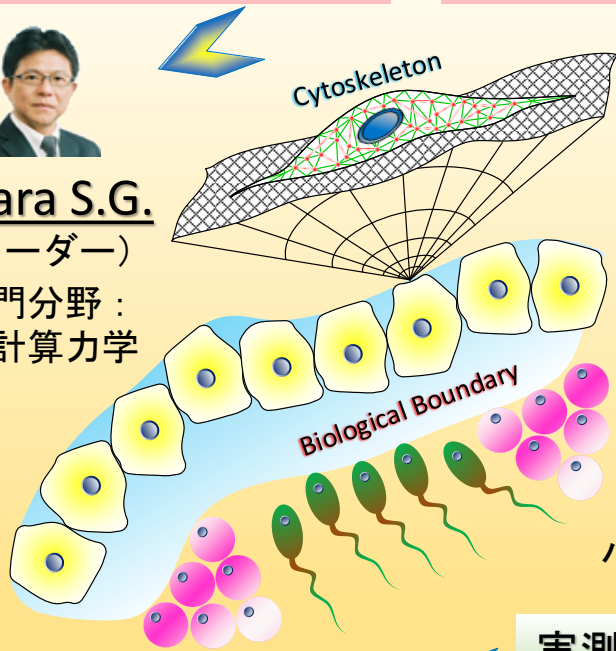
材料の提供



専門分野：生体高分子化学

小林厚志(プロジェクトリーダー)

実測データの提供



プロジェクト予定

平成29年度：

各研究グループの研究内容に関する情報交換及び共同研究テーマの選定

平成30年度：

共同研究テーマの推進
情報交換会の定期的開催(毎月)

平成31年度：

研究成果の積極的な公表
プロジェクト体制の総括